

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 19日

中施策事業名	スポーツ補助金事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	山田 隆貴
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	一緒に運動を楽しむ仲間を増やし、リーダーを育成する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	気軽に運動ができるように、仲間に囲まれ、指導者にも恵まれている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・選手派遣補助事業（スポーツ協会・レク協会等） ・スポーツ協会（16団体）事務及び調整 ・レクリエーション協会（4団体）事務及び調整 ・スポーツクラブ事務局 ・ふれあい広場設置補助事業（2団体）		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
県大会以上への出場者数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	27	27	27	27	0	0
	実績値	51	54				
単位	人						
スポーツクラブ登録者数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	200	200	200	200	0	0
	実績値	298	349				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費(a+b)				6,616千円	6,776千円	
人 件 費	a 事業費合計			6,616千円	6,776千円	7,628千円
	正規職員	人数	0 人	0 人		
		b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等（収入）				0千円	0千円	0千円
③ コスト（①－②）				6,616千円	6,776千円	
市民一人あたりコスト （③／市の人口（評価対象年度末時点））				96 円	98 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>小学校の部活動の停止により、スポーツクラブへの登録者は活動したい児童・保護者の受け皿となっており、目標達成の継続ができています。</p> <p>また、県大会以上の出場者数については目標を大きく上回っているものの、これは団体種目での出場が多くなっていると思われるので、この点は留意する必要がある。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	各団体の活動を様々な機会を通して周知し、参加者数の増加を目指す。また市民が様々なスポーツが選択できるよう、クラブ数の増加も目指していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	各団体の活動を様々な機会を通して周知し、参加者数の増加を目指す。また市民が様々なスポーツが選択できるよう、クラブ数の増加も目指していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 7月 28日

中施策事業名	スポーツ振興事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	山田 隆貴
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	誰もが運動を楽しめる機会や場をつくる		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	誰もが楽しみながら運動に親しみ、健康的な生活を送っている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 豊明市スポーツ表彰事務 ・ 各団体競技の調整 ・ スポーツ推進計画審議会（計画進行管理） ・ 市民歩け歩け運動 ・ スポーツ講演会 ・ 市民レクリエーションスポーツ教室		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
スポーツ賞表彰対象者	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	68	68	68	68	0	0
	実績値	37	48				
単位	人						
市民スポーツ大会参加者数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	3,750	3,750	3,750	3,750	0	0
	実績値	0	3,405				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				6,373千円	25,964千円	
	a 事業費合計			6,373千円	25,964千円	18,275千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				6,373千円	25,964千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				93 円	377 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>本年度は市制50周年記念のマラソン大会を行った。SNS、チラシだけでなく、名古屋駅でのデジタルサイネージや金山駅でのスクエアビジョンなどで広報をした影響もあり、参加者は多くあった。中京競馬場の中を走れるという豊明市だからこそできる内容であり、満足の割合が93.5%と高い大会であった。しかし、その他のスポーツイベントの周知や誰もが参加しやすい場面を整える必要性を感じた。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>スポーツ大会への出場者数自体の増加はもちろんだが、スポーツ観戦を通じてスポーツに興味を持ってもらい、結果スポーツ人口の増加に努める。</p> <p>また、部活動の地域移行の本格実施に向け、利用者の費用負担や家計困窮世帯への助成を検討する。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>スポーツ大会への出場者数自体の増加はもちろんだが、スポーツ観戦を通じてスポーツに興味を持ってもらい、結果スポーツ人口の増加に努める。また、中学生の運動する機会を継続して確保していくため、中学校部活動の地域展開を円滑に進めていく。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 12月 3日

中施策事業名	体育施設維持管理運営事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	山田 隆貴
①めざすまちの姿	11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮らしている		
②大施策	誰もが気軽に運動を楽しみ、健康に暮らせるまちをつくる		
③中施策	誰もが運動を楽しめる機会や場をつくる		
④中施策事業の対象	施設利用者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	健康的な生活を送るため、快適な環境で運動に親しんでいる		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設に係る修繕工事等 ・用地借地契約 ・体育施設利用調査、調整事務（優先団体使用・グラウンド・テニスコート） ・行政財産目的外使用料算定、許可 ・指定管理（委員会） ・備品台帳の整理		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
福祉体育館及び体育施設等の利用者数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	217,400	217,400	217,400	217,400	0	0
	実績値	205,206	213,183				
	単位	人					
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和05年度	令和06年度	令和07年度	
① 総事業費 (a+b)				266, 967千円	84, 447千円		
	a 事業費合計			266, 967千円	84, 447千円	82, 531千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)			266, 967千円	84, 447千円			
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))			3, 879 円	1, 227 円			

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>休日における施設利用率はかなり高く、それに伴い施設利用者はほぼ目標に達している。一方で、施設自体が古いため修繕や改修をしながらの利用、または設備を利用できないことの我慢を利用者に強いており、利用者がスポーツを快適な環境下で楽しむということとはできなかったのではないかと。今年度は勅使グラウンドの治水工事が控えており、施設利用にも影響があるため、関係団体や利用者への周知を徹底する。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	施設利用者は上昇傾向であるため現在の施策を継続するが、施設の劣化による使用不能などで利用者の目的が達成できない状況があらってはならない。施設が快適に利用できる状況を維持するため、指定管理者と不具合個所の情報共有を積極的に行い、改修内容を検討していく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	指定管理者選定時の事業者提案から、施設の魅力向上につながるものを指定管理者と協議し、より良い体育施設のあり方を検討していきたい。また、施設が快適に利用できる状況を維持するため、指定管理者と不具合個所の情報共有を積極的に行い、改修内容を検討していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 19日

中施策事業名	公民館管理運営事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	山田 隆貴
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができている		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	それぞれの教養を高めながら活発に交流している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 公民館サークル ・ 公民館まつり ・ 公民館の運営及び運営審議会、公民館連合会 ・ 公民館講座等		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
南部公民館利用件数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	30,000	30,000	30,000	30,000	0	0
	実績値	13,270	34,535				
	単位 人						
公民館講座等参加者数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	25,000	25,000	25,000	25,000	0	0
	実績値	22,835	28,431				
	単位 人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				86, 171千円	23, 389千円	
	a 事業費合計			86, 171千円	23, 389千円	24, 518千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				86, 171千円	23, 389千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1, 252 円	340 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>公民館のリニューアル工事により学習スペースを設けたことや公民館利用の周知活動を行ったため、利用者は大幅に増えている。</p> <p>しかし、それ以外の公民館利用はそれほど増えておらず、課題が残ると考える。</p> <p>一方、市が主催する公民館講座への参加者は横ばいであるが、市民大学ひまわりが開催する講座への参加が順調に増えており、目標達成に近づいている。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	学習スペースを設けたリニューアルの実施に伴い施設の利用者自体は増加したが、多様な人が公民館を通じて交流するという公民館の目的の部分に課題が残る。魅力ある公民館講座を実施し、交流の活性化を進める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	南部公民館の利用者数の増加に向け、駅利用者以外の人への広報方法を検討していきたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 19日

中施策事業名	文化広場管理事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	山田 隆貴
①めざすまちの姿	15 誰もが身近に寄り合える場所があり、地域の人と支え合いながら孤立することなく暮らすことができる		
②大施策	身近に寄り合える場所をつくり、地域で支え合える環境をつくる		
③中施策	多様な人が交流する機会を充実させ、地域での人と人とのつながりをつくる		
④中施策事業の対象	施設利用者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	多様な人が、健康で文化的素養を相互に高めている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 勅使会館の管理、運営及び支払いに関すること		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
勅使会館の利用人数（和室）	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	4,300	4,300	4,300	4,300	0	0
	実績値	2,053	1,459				
単位	人						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和05年度	令和06年度	令和07年度	
① 総事業費 (a+b)				4, 947千円	10, 482千円		
	a 事業費合計			4, 947千円	10, 482千円	10, 545千円	
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
		人件費合計			0千円	0千円	
		② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				4, 947千円	10, 482千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				72 円	152 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>宿泊利用を中止し、また、現在の和室の利用は一部の方々の利用に留まっている。指定管理者の事業実施のみならず、新たな施設のあり方を考える必要がある。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	施設の利用状況の推移を検証し、新たな施設の在り方を考える。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	施設の利用状況の推移を検証し、新たな施設の在り方を考える。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 19日

中施策事業名	青少年対策事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	山田 隆貴
①めざすまちの姿	17 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		
②大施策	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる		
③中施策	地域ぐるみで子どもを育て、見守る環境をつくる		
④中施策事業の対象	市内小中学生及び地域の人たち		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	小中学生が、それぞれの地域で、地域の人たちに支えられ、生き生きと暮らしている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・青少年健全育成地区連絡協議会及び家庭教育推進協議会・青少年健全育成推進員・二十歳の会に関すること・家庭教育学級に関すること・民謡講習会及び子どもフェスティバル		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
放課後子ども教室 登録児童数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位	人						
親子ふれあい事業 参加数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	100	100	100	100	0	0
	実績値	89	92				
単位	人						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				3,464千円	3,792千円	
	a 事業費合計			3,464千円	3,792千円	3,797千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円
③ コスト (①－②)			3,464千円	3,792千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))			50 円	55 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	統合や廃止、新規事業を検討する	×	C
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>青少年健全育成事業は各地区の方々にご尽力いただいているものの、その取り組みは地域により温度差がある。</p> <p>市域全域で行うことの難しさもあり、この事業を見直す時期にきていると思われる。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	社会情勢や市民意識の変化から従来の家庭教育学級の運営は難しくなっているので、来年度以降の事業自体の縮小や廃止などを7年度中に検討し、各学級の理解を求めていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	母親だけではなく、父親や祖父母も参加しやすいような講座を検討していきたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 19日

中施策事業名	社会教育活動事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	山田 隆貴
①めざすまちの姿	17 子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動している		
②大施策	子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる		
③中施策	地域活動を活発にする		
④中施策事業の対象	市内小中学生		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	小中学生が、地域の人たちに支えられ、活発に活動している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 人権教育 ・ 社会教育委員会 ・ 情報誌の発行ＨＰの運営 ・ 市Ｐ連 ・ 女性の会補助金・文化系ジュニアクラブ（CJC）		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
文科系ジュニアクラブ数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	7	7	7	7	0	0
	実績値	6	6				
単位	クラブ数						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				4,917千円	6,468千円	
	a 事業費合計			4,917千円	6,468千円	6,245千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				4,917千円	6,468千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				71 円	94 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>文化系ジュニアクラブの全体の参加人数は横ばいであるものの、参加者は一部クラブに偏る傾向にある。</p> <p>また、一部クラブでは指導者の後継者が育っておらず、その存続が難しくなっている。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	<p>指導者の高齢化により活動が難しくなっているクラブがある。こういったクラブとは後継者確保策を一緒に考えていきたい。</p> <p>子どもたちの活動の受け皿として継続して努める。</p>	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	<p>子どもたちの活動の受け皿として継続して努める。CJCの講師側において高齢化が進んでいるので後継者の選任などをクラブと一緒に考えていきたい。また現在のクラブのほかに活動が可能なものがないか検討していきたい。</p> <p>子どもたちの活動の受け皿として継続して努める。</p>	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 12月 3日

中施策事業名	文化会館管理運営事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	山田 隆貴
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	市内外の人がとよあけの魅力を楽しめる環境をつくる		
④中施策事業の対象	施設利用者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	文化的素養を育み、文化、芸術を発信している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・施設に係る修繕工事等 ・指定管理 ・会館の財産等 ・公立文化施設協会（施設損害賠償保険含まず）		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
利用者数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	137,500	151,200	151,200	151,200	0	0
	実績値	102,234	105,557				
単位	人						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				101,466千円	103,200千円	
	a 事業費合計			101,466千円	103,200千円	102,502千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				101,466千円	103,200千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				1,474 円	1,500 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>指定管理者にて行う事業が大部分であり、モニタリングでの評価や指定管理者の自主事業では満席になる催し物も企画され、概ね順調に事業が行われている。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	事業運営は良好に行われているため、施設の不具合で利用が停止することがあってはならないと考えている。指定管理者と不具合箇所などの情報の共有を密接に行い、改修内容を検討していく。また、魅力ある施設となるよう努める。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	事業運営は良好に行われているため、施設の不具合で利用が停止することがあってはならないと考えている。指定管理者と不具合箇所などの情報の共有を密接に行い、改修内容を検討していく。また、魅力ある施設となるよう努める。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 7月 28日

中施策事業名	文化財保護事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	山田 隆貴
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	地域の歴史・伝統・文化を正しく認識し、愛着をもって継承している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ナガバノイシモチソウ ・大狭間湿地 ・市文化財の保護、保存及び補助金 ・市文化財の保護、保存及び補助金の申請及び交付 ・文化財保護委員会 ・文化財の維持管理 ・埋蔵文化財の調査、実測及び台帳への登録		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
一般公開見学者数 (ナガバノイシモチソウ)	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	580	590	600	610	0	0
	実績値	805	586				
単位	人						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				8, 206千円	9, 054千円	
	a 事業費合計			8, 206千円	9, 054千円	9, 400千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				8, 206千円	9, 054千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				119 円	132 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	B 歴史民俗資料室や市内の史跡等文化財について、より市民へ周知するため、新しい取組を実施するのではなく、既存の取組の広報の手法を工夫していく必要がある。文化財の保存については地道に事業を行っている。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	歴史民俗資料室においてワークショップや講座を充実させ、市民が豊明市の歴史や自然に関心を持ち、継承していけるような環境を整えていく。また、令和8年度に開催予定の湿地サミットに向けて環境整備等を行っていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	歴史民俗資料室の展示やワークショップ等を工夫することで、幅広い年代の人が豊明市の歴史や自然に親しみ、誇りを持てるようにする。また、令和8年度に開催予定の湿地サミットに向けて環境整備等を行っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 19日

中施策事業名	市史編さん事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	山田 隆貴
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	地域の歴史・伝統・文化を正しく理解している		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・市史の編さん及び編さん委員会 ・市史新規資料の受け入れ ・広報「とよあけの自然」、「市史だより」 ・愛知県市史整備市町村協議会 ・歴史民族資料の収集及び資料室 ・歴史民族資料調査研究会 ・史跡ガイド		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市史販売数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	20	20	20	20	0	0
	実績値	9	8				
単位	冊						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				3,569千円	4,501千円	
	a 事業費合計			3,569千円	4,501千円	4,637千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				3,569千円	4,501千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				52 円	65 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>歴史民俗資料室での企画展を始め、室には多くの方がご来場されるなど、本市の歴史を理解する場を提供できた。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	歴史民俗資料室においてワークショップや講座を充実させ、市民が豊明市の歴史や自然に関心を持ち、継承していけるような環境を整えていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	歴史民俗資料室が多くの方々が魅力を感じられるような施設をめざす。そのためには専門的知識を持った学芸員の採用も検討する必要がある。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称) 市史デジタル化事業	内容、理由、時期等 市史や保管されている文化的資料が、劣化により使用できなくなる前にデジタル化する。
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 19日

中施策事業名	陶芸の館管理事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	山田 隆貴
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住、在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	かつての陶芸産地であった歴史的経緯を理解し、現在も文化を継承するとともに発信し続けている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・陶芸教室 ・陶芸の館の管理、運営及び支払い		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
陶芸の館利用者数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	2,600	2,600	2,600	2,600	0	0
	実績値	1,363	1,172				
単位	人						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				1,933千円	1,809千円	
	a 事業費合計			1,933千円	1,809千円	1,989千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				1,933千円	1,809千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				28 円	26 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	あまり達成できていない	×	C
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>市民大学ひまわりの陶芸教室や県陶芸美術館の出張陶芸教室などを行ったが、一部の方々の利用に留まっており、利用者の増加にはつながっていない。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	施設自体のあらゆる年代の人が参加できるような講座内容としていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	施設自体のあらゆる年代の人が参加できるような講座内容としていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 6月 19日

中施策事業名	市民文化育成事業	部課名	教育部・生涯学習課
		作成者	山田 隆貴
①めざすまちの姿	21 市民が豊明の歴史・伝統・文化に誇りを持ち、次世代が継承し創造している		
②大施策	とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる		
③中施策	歴史・伝統・文化の保護・継承を支援する		
④中施策事業の対象	市内在住・在勤者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	世代や分野を問わず、文化的な素養を高め、発信し続けている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・文化協会等の団体育成及び指導		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
市民文化講座等の 参加者数	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	1,800	1,850	1,900	1,900	0	0
	実績値	1,499	935				
単位	人						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				972千円	972千円	
	a 事業費合計			972千円	972千円	1,228千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				972千円	972千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				14 円	14 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>本市の文化の担い手である文化協会は後継者の育成が課題となっている。文化講座については指定管理者への受託事業として実施しているが、時代に合った取り組みを検討していく時期でもある。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	事業の参加人数の増加を目指し、周知方法や開催方法を工夫していく。また指定管理者と協議し、アンケート等の分析をし、参加者のニーズに合った事業の実施を検討していく。市制50周年を市民とともに祝う事業として市民参加による合唱音楽会を開催する。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	市内の文化活動団体の活動やイベントを発信する方法を工夫し、より多くの市民が参加できる事業を展開する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等